

資料室ニュース

2022年7月号

編集・発行：一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会（豊中市委託事業）

購入図書（2022年5～6月分）

・生きづらさに向き合う子ども

絆よりゆるやかにつながろう

（日本機関紙出版センター 著・文：平井美津子 P266）：
1,650円

【内容】

現代社会で、思春期の子どもが抱える生きづらさは、私たち大人の想像を大きく超える。40年間にわたる中学生たちとの格闘の末に抱いた思い——「絆よりゆるやかにつながろう」。子どもにかかわるすべての人たちに20のストーリーを通して放つメッセージが心を揺さぶる。シンママ大阪応援団「ママのためのZoom講座」をベースに執筆。



・児童養護施設という私のおうち

知ることからはじめる 子どものためのフェアスタート

（旬報社 著・文：田中れいか P200）：1,760円

【内容】

児童養護施設に暮らす子どもは現在約3万人。しかし、かわいそう、問題児といった偏見が先立ち、その実態はあまり知られていません。実際に児童養護施設に暮らした著者は「進路や人間関係に悩みながらも、ともに成長できる場所である児童養護施設は、子どもたちにとってはかけがえのないおうち」と言います。

本書は、児童養護施設とそこで育つ子どもの全体像を知るための入門書です。著者自身のライフストーリーに加え、社会的養護の基礎知識やデータを掲載。すべての若者が同じスタートラインに立つ「フェアスタート」を実現するための課題も探っていきます。子ども支援事業に力を注ぐ東京・世田谷区の保坂展人区長との対談も収録。



・近現代日本の部落問題【全3巻】



(解放出版社 著：朝治武、黒川みどり、内田龍史 P530～550)：各 6,600 円

【内容】

全国水平社は、二〇二二年三月三日で一〇〇周年を迎える。この『講座 近現代日本の部落問題』全三巻（以下、本講座）は、これを記念して発刊される論文集です。第一巻「近代の部落問題」（担当：朝治武）、第二巻「戦時・戦後の部落問題」（担当：黒川みどり）、第三巻「現代の部落問題」（担当：内田龍史）という、全三巻で構成している。

・妻はサバイバー

(朝日新聞出版 著・文：永田豊隆 P144)：1,540 円

【内容】

妻に異変が起きたのは、結婚4年目、彼女が29歳の時だった。摂食障害、アルコール依存症……。介護と仕事、その両立に悩み続けた20年近くにわたる自らの体験を、貧困ジャーナリズム賞受賞歴もある朝日新聞記者が克明に綴る。



・ぶらり大阪 味な店めぐり

(産業編集センター 著・文：井上理津子 P240)：1,320 円

【内容】

なぜかもう一度行きたくなる、不思議な魅力をもつ「味な店」。関西出身のノンフィクションライターである著者が、自ら歩き回って見つけたお気に入りの味な店を紹介。店主へのインタビューを通じて、その店の人気の秘密に迫る。大阪を中心に、兵庫、京都、滋賀、奈良の67店舗を掲載。朝日新聞大阪本社版夕刊の人気連載『味な人』の中から、著者取材分をまとめた1冊。※井上理津子さんから寄贈いただきました。

資料室の利用方法

図書の貸出は1回につき原則3週間、5冊までです。期限は厳守してください。貸出カードに名前、住所をご記入ください。電話、FAX、メールでも受け付けています。連絡便での貸出・返却が可能です。貸出中の場合はご了承ください。

〒561-0884 豊中市岡町北3-13-7

TEL：06-6841-5300 FAX：06-6841-6655 mail:bwz37306@nifty.com

